

事務事業チェックシート

事務事業No 580 事業名 スポーツ拠点づくり推進事業 (U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会開催)

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

事業種別	継続	
事業期間	H20	～ H29
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画	
担当課・担当課長 (Tel)	スポーツ振興課	小川 直寛
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		保健体育費	
	目		体育振興費	
	大事業		体育振興事業	
事項		スポーツ拠点づくり推進事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	<p>事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)</p> <p>財団法人地域活性化センターの助成金活用事業で、平成20年度に、「U12セーリングチャンピオンシップ全国大会」がスポーツ拠点づくり推進事業として認定されました。この事業は、小・中・高校生が参加する各種スポーツの全国大会を継続的に実施しようとする市町村とスポーツ団体の取り組みを支援することで、青少年の憧れ、目標とするスポーツごとの拠点を形成し、スポーツ振興と、地域の再生を促進することを目的とします。</p>	<p>事業内容</p> <p>スポーツ拠点づくり推進事業を継続し、和歌山市が支援、後援をしていく中で、「和歌山セーリングチャンピオンシップ実行委員会」に対し、大会が円滑に行えるよう運営経費の一部を補助金として支出しています。</p>				
	実施内容	平成26年度 U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	平成27年度 U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	平成28年度 U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	平成29年度 U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会の開催	平成30年度

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		
伸び率 (%)	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	980	749	749	864	864	968	968		
	正規職員以外		351	351	417	417	316	316		
	小計	980	1,100	1,100	1,281	1,281	1,284	1,284		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		
一般財源 (税等)										
所要人数 (人)	正規職員	0.13	0.10	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12		
	正規職員以外		0.07	0.07	0.19	0.19	0.14	0.14		
主な予算内訳	スポーツ拠点づくり推進事業補助金 4,000千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 交付金交付件数	件	目標値	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 参加者数	人	目標値	50	50	50	50	
		実績値	52	62	99		
		達成度 (%)	104.0%	124.0%	198.0%		
		目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	(一財)地域活性化センターの助成金活用事業であり、平成20年度に「U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会」がスポーツ拠点づくり推進事業として認定され、和歌山市の恵まれた自然を活かしたマリーナシティで、毎年、大会を開催していますが、全国から多くの観客や参加者が集い、和歌山の素晴らしさを全国に発信する大会となっています。
見直し・改善内容	(一財)地域活性化センターの助成金活用事業で、助成期間は10年間であるため、今後、助成金が無くなった場合、市として単独で補助していくのか検討する必要がある。